

卒業まで9日、一般選抜にがんばっているあなたに
ちよっとコーヒータイム・・・心の栄養として
「カロリーメイトのCM曲3を>CMシリーズ第7弾 最終回

「ファイト！」

作詞・作曲：中島みゆき

あたし中卒やからね 仕事をもらわれへんのや と書いた
女の子の手紙の文字は とがりながら ふるえている
ガキのくせにと 頬を打たれ 少年たちの眼が年をとる
悔しさを握りしめすぎた こぶしの中 爪が突き刺さる

“どうしようもない
理不尽さ”
社会や大人の理不尽な
圧力に打ちひしがれた
青少年たちが、頬をたた
かれながら、夢や希望を
砕かれ年を取り、大人に
なってしまう・・・

私 本当は目撃したんです 昨日電車の駅 階段で
ころがり落ちた子供と つきとばした女の うす笑い
私 驚いてしまって 助けもせず 叫びもしなかった
ただ 怖くて逃げました 私の敵は 私です

ある日、自分も汚い大人だということを自覚し、
愕然となる・・・そういう身勝手に事なかれ主義の
“私” もいることに・・・

ファイト！ 闘う君の歌を
闘わない奴等が笑うだろう
ファイト！ 冷たい水の中を
ふるえながらのぼってゆけ

暗い水の流れて打たれながら 魚たちのぼってゆく
光っているのは傷ついて はがれかけた鱗が揺れるから
いっそ水の流れて身を任せ 流れ落ちてしまえば楽なのにね
やせこけて そんなにやせこけて 魚たちのぼってゆく

そのまま大人・現実の
世界に迎合した方が
楽であることを認め
ながらも・・・

勝つか負けるかはわからない それでもとにかく闘いの
出場通知を抱きしめて あいつは海になりました

ファイト！ 闘う君の歌を
闘わない奴等が笑うだろう
ファイト！ 冷たい水の中を
ふるえながらのぼってゆけ

流れに逆らって戦えと

薄情もんが 田舎の町に あと足で砂ばかけるって言われてさ
出ていくならお前の 身内も住めんようにしちゃうって言われてさ
うっかり燃やしたことにして やっぱり燃やせんかったこの切符
あんたに送るけん持とってよ 滲んだ文字 東京ゆき

ファイト！ 闘う君の歌を
闘わない奴等が笑うだろう
ファイト！ 冷たい水の中を
ふるえながらのぼってゆけ

あたし男だったらよかったわ 力づくで男の思うままに
ならずにはすんだかもしれないだけ あたし男に生まれればよかったわ

ああ 小魚たちの群れきらきりと 海の中の国境を越えてゆく
諦めという名の鎖を 身をよじってほどいてゆく

ファイト！ 闘う君の歌を
闘わない奴等が笑うだろう
ファイト！ 冷たい水の中を
ふるえながらのぼってゆけ

“どうしようもない理不尽さ”

◆この歌「ファイト！ 闘う君の歌を / 闘わない奴等が笑うだろう / ファイト！
冷たい水の中を / ふるえながらのぼってゆけ」だけなら、ただの応援歌なんだけど、
詩を読むと、実は、けっこう重たい歌なんだよね。

◆中島みゆきは、子供（青少年）に「同情」しているわけでもなく、大人の汚さを「批判」
しているわけでもないと思う。

◆「大人や社会の汚さ」と「青少年の純粋さ」・・・どちらが悪で？ どちらが善なのか？
ではなく、自分もその「汚さ」と「純粋さ」両方を持った社会の一員であることを自覚し、
理解した上で、

“どうしようもない理不尽さ”と戦うことを肯定し歌い上げている。

◆この戦いは、年齢には関係ないと思う。大人であれ、青少年であれ、理想を貫こうとすれ
ば、必ず現実との衝突は避けられない。理想も現実も「自分の心」が生み出すものなんだけど・・・

◆「生きる」ことは、夢をあきらめることなく、時にはこの理想と戦い、時には現実と戦う
ことなのかもしれない。(理想(善) VS 現実(悪)ではない)「人は幸せになるために生まれ
てきた」と言われるが、この幸せの定義(基準?)もあるのやらないのやら、難しいよなあ

◆進路選択は、単になる高校の受験校選びではない！合格でもない！（何回も書きますが）
どうしようもない理不尽さ”と向き合い
諦めという名の鎖を 身をよじって ほどいてゆくことなんだ！！

◆このことは、一生続く・・・そうそう CM でファイトを歌っていた満島ひかりさんは、同
時にアカペラで石井竜也（米米 CLUB）の「浪漫飛行」も歌っていたが、この曲もいいねえ～
No171 参照

特別入学者選抜、本日午後2時から合格発表！無事合格していることを願う！！